

ブリーフサイコセラピーからみた条件反射制御法入門

長谷川明弘(東洋英和女学院大学)

平井慎二(下総精神医療センター)

長谷川直実(デイケア ほっとステーション)

概要:ブリーフサイコセラピー(Brief Psychotherapy)は、心理療法の各モデルを実践家が適用する中で、効果的で効率的な支援を試みようとする臨床哲学を伴った精神療法の総称です。今回は、条件反射制御法(CRCT; Conditioned Reflex Control Technique)を取り上げてブリーフサイコセラピーの観点を織り交ぜながら、その入門編とする研修を研修委員会が企画しました。

条件反射制御法は、パヴロフの条件反射学説(信号系学説とも呼ばれる)を理論的基盤とし、2006年に下総精神医療センターの平井慎二が開発しました。当初CRCTは、薬物乱用者に対して実施されましたが、その後性的逸脱行動、盗癖、リストカット、抜毛癖、強迫性障害、病的賭博、ストーカーなど、様々な繰り返す嗜癖行動へ適応を広げてきました。

本研修会では、まずブリーフサイコセラピーの概説を行った後、本企画の主題となるCRCTを取り上げてその基盤となる理論と技法の概要を解説し、皆さんが臨床現場で出会うことが多い、アルコールやギャンブルの問題などへのCRCTの実践法について演習を交えてお伝えし、随時ブリーフサイコセラピーの観点で捉えた場合の工夫などを織り交ぜての研修を予定しております。

スケジュール 内容〈時間は目安〉担当

- | | | |
|-------------------------------|-------|------------|
| (1) 条件反射制御法(CRCT)の理論と基本法 | 〈60分〉 | 平井慎二 |
| (2) ブリーフからみたCRCTの位置づけ | 〈15分〉 | 長谷川明弘 |
| (3) 制御刺激設定演習 | 〈30分〉 | 長谷川直実 |
| (4) ブリーフサイコセラピーからみた制御刺激の意味と効果 | 〈10分〉 | 長谷川明弘 |
| [休憩 〈10分〉] | | |
| (5) 物質使用障害に対するCRCT | 〈60分〉 | 長谷川直実 |
| (6) 痴漢、病的窃盗、PTSDに対するCRCT | 〈50分〉 | 平井慎二 |
| [休憩 〈10分〉] | | |
| (7) 仮想事例 による CRCT 治療組み立て演習 | 〈30分〉 | 平井慎二・長谷川直実 |
| (8) 質疑応答と総括 | 〈20分〉 | 長谷川・長谷川・平井 |